

平成29年度 第1回
中津川市社会教育委員の会（兼）公民館運営審議会

平成29年7月24日（月）午後7時00分
健康福社会館 多目的ホール

1 開会

2 委嘱書交付（新規の方）

3 あいさつ

文化スポーツ部長

会長あいさつ

4 議題

（1）報告

平成29年度文化スポーツ部関係事業について

（資料1）

（2）協議事項

①東濃地区社会教育振興協議会研修会及び第9回岐阜県社会教育推進大会での
基調提案、発表について

（資料2）

② 平成29年度中津川市社会教育推進の方針と重点及び社会教育委員の役割に
ついて（案）

（資料3）

5 閉会

平成 29 年度

中津川市文化スポーツ部の方針と重点

中津川市文化スポーツ部

ライフスタイルや価値観の多様化が進んでいる現代社会では、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、人と人との絆を深めながら、生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることが大切である。

すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくるため、『学び、活かす市民』を将来像として目指す文化スポーツ部の方針と重点を次のとおり定める。

方 針

“いきいきとした人づくり”を実現する“まち”中津川

『学び、活かす市民』づくりを目標に、「読書」による人づくり、「一市民1スポーツ」による人づくり、「ふるさと」に誇りをもつ人づくりを推進し、市民の一人ひとりが読書活動や文化活動等を通じて学び続ける生涯学習社会、豊かなスポーツライフ社会を実現する。

1. 市民一人ひとりが心豊かな生活をおくるために多様な学習・文化・スポーツの機会の創出を図り、地域で活躍する人づくりや出番づくりを推進する。
2. 市民が生涯学習・文化・スポーツ活動を自主的に生き生きとして取り組むことができるよう、環境整備を推進する。
3. 市民協働により公民館、図書館、博物館、文化施設、スポーツ施設等の運営や事業実施の取組を推進する。
4. いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめる環境を充実し、ボランティアとの協働により読書活動を推進する。
5. 市が提唱する「8万人のヘルスアップ」に呼応し“する”、“みる”、“ささえる”スポーツを推進する。
6. 「リニアのホームタウンなかつがわ」の魅力として発信するため、ここにしかない文化遺産や誇れる文化・芸術の保存、活用、継承を推進する。
7. まちづくり人づくりの拠点となる公民館を活性化するため、地域の人材を発掘、育成し、住民主体による公民館運営を推進する。

重 点

I 生涯学習の振興

【教育・生涯学習環境の整備】

■市民の学習活動のための環境整備

- ・阿木公民館（阿木交流センター：仮称）の改築事業

【教育内容・生涯学習内容の充実】

■学び、活かす楽しい学習

- ・各公民館において、「地域づくり型講座」を中心に、市民の自主的な学習活動の充実に向け、様々な生涯学習機会の提供と講座の開催
- ・より質の高く幅広い学習機会を提供するため、市民力を活用した講座の開催

■親子が幸せに育つ家庭教育

- ・各公民館での乳幼児学級の開催
- ・小中学校での家庭教育支援事業の実施
- ・子育てサポーターの育成と派遣
- ・家庭教育推進会議の開催
- ・家庭教育支援員の配置

■未来を切り拓く子どもたちの育成（青少年の健全育成）

- ・青少年健全育成推進市民会議を中心にした行事や教室の開催
- ・補導活動や悩みごと電話相談、環境浄化事業の展開
- ・ジュニアリーダーの育成
- ・地域行事への参画の推進
- ・夏休み子ども講座の開設
- ・放課後子ども教室の実施

【市民が参加する教育体制の整備】

■活力ある地域づくりの推進

- ・地域づくり活動や生涯学習活動を担うコーディネーターやサポーターの育成
- ・地域住民による公民館の指定管理推進
- ・運営委員会等による公民館事業の活性化

■ボランティアの支援と協働推進

- ・子育てサポーター養成講座の開催
- ・スポーツ行事へのボランティア参加の機会創出
- ・サポーターポイント制度のPRと活用の促進

■国際・国内交流の推進

- ・中学生海外派遣研修事業の実施
- ・国内外交流の継続による友好・親善・相互理解

Ⅱ 読書活動の推進

【教育・生涯学習環境の整備】

■全市民が等しく享受できる読書環境整備

- ・「全市でひとつの大きな図書館」という考えに立った、資料収集と利活用の充実、各地域公民館図書室等の特色を活かした蔵書構成づくり
- ・いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめるよう、情報ネットワークによる窓口サービスや配本ネットワークによる資料サービスを展開
- ・市内の各地域における図書館サービスをすすめるための、司書による巡回と地域公民館との連携の充実

【教育内容・生涯学習内容の充実】

■人づくりにつながる読書活動

- ・「学び、活かす市民」を実現するための読書活動の推進
- ・0歳から100歳まで各年代に対応した読み聞かせ会、お話会、講座、講演会、イベント等、「市民と図書館」、「市民と資料」、「市民と市民」を結びつける事業の開催による人づくり

【市民が参加する教育体制の整備】

■ボランティアの支援と協働推進

- ・講座開催によるブックサポーターの育成継続
- ・市民一人ひとりの生きがいにつながるボランティア活動の場づくりと幅広い市民協働による図書館運営

Ⅲ 文化の振興

【教育・生涯学習環境の整備】

■人づくり、まちづくりに活かす文化施設の再編と整備

- ・中心市街地活性化基本計画に美術館、歴史資料館等機能の具体化
- ・優れた舞台芸術等の鑑賞や市民の文化活動の発表の場となる文化施設の効率的な運営

■市の特色を活かした歴史文化資源の整備

- ・観光活用につながる国指定史跡「苗木城跡」「中山道 落合宿本陣」の整備、公開
- ・指定文化財の保存整備、歴史資料の公開と天然記念物の自生地保全
- ・芝居小屋(明治座、常盤座)の保存管理と公開等による施設の有効活用

【教育内容・生涯学習内容の充実】

■学び、活かす楽しい学習

- ・博物館各館での特色のある講座、教室等の開催

- ・小中学校等との連携による博物館の所蔵資料を効果的に活用した学習支援
- ・特色ある企画展開催や広報の充実による博物館等の入館者確保

■守り・育てる中津川の文化

- ・文楽、地歌舞伎等の伝統芸能活動の支援と指導者となる人材育成
- ・第22回岐阜県文楽能大会開催、第25回岐阜県飛騨美濃歌舞伎大会開催
- ・郷土の先人を顕彰するため、第11回島崎藤村記念文芸祭の開催、第8回前田青邨記念大賞募集開始
- ・市民の創作活動発表の場としての第66回市民展の開催
- ・文化活動に対する意欲や技術の向上を図るための各地域の文化協会や各種団体活動の支援
- ・市民ニーズにあった市民文化芸術鑑賞事業の実施
- ・青木斧戸線工事にともなう埋蔵文化財の発掘調査
- ・博物館における多様な学習機会提供のため、中津川市史中巻等近世歴史資料のWEB公開に伴う、シンポジウムの開催

【市民が参加する教育体制の整備】

■ボランティアの支援と協働推進

- ・古文書調査など郷土資料調査を進める人材や史跡案内ボランティアなどの人材の育成支援
- ・博物館友の会やボランティア活動の充実及び身近で楽しめる博物館活動の展開による「参加する博物館」・「開かれた博物館」の推進

■ふるさとの絆を深める事業

- ・市民が郷土の歴史や文化などに触れ、ふるさとへの愛着を深めるための文化ツアーや出前講座の継続

IV スポーツの推進

【教育・生涯学習環境の整備】

■スポーツ施設の効果的な運営と施設の整備

- ・健康づくりと体力の維持、増進を図るため、地域住民と連携した各地区にウォーキング・ジョギングコースの設定
- ・市有財産（施設）運用管理マスタープランに基づくスポーツ施設の統廃合や地域移譲の調整
- ・地域の健康づくりの拠点となるスポーツ施設の指定管理等による効率的運営

【教育内容・生涯学習内容の充実】

■健康で、ライフステージに応じたスポーツ

- ・「8万人のヘルスアップ事業」と連携したウォーキングやレクリエーションスポーツなど、身近な生涯スポーツの推進・普及によるスポーツ実施率の向上

- ・地域活性化とスポーツの推進及び絆づくりを図るため「清流木曾川中津川リレーマラソン大会」の継続と開催支援
- ・「夢の教室」と「子ども金メダル」事業の継続による、子どもたちの夢を実現する取り組みを支援
- ・市内外のトップアスリート招致による競技力の向上
- ・第10回岐阜県民スポーツ大会の開催（中津川市主会場）に伴う運営協力と支援

【市民が参加する教育体制の整備】

■ふるさとの絆を深める事業

- ・地域のスポーツ団体との連携強化
- ・各地域におけるスポーツ教室・行事などを通じた地域コミュニティづくり
- ・総合型地域スポーツクラブを中心とした世代間を超えた交流の促進

V 人権教育の推進

- ・平成29年度中津川市教育委員会「人権教育の方針と重点」を受け、子ども会活動や社会教育活動等における人権に関する学習や指導者研修の実施
- ・中津川市安心安全まちづくり推進市民会議いじめ対策部会や青少年健全育成市民会議等の関係団体・機関と連携した青少年のいじめ対策推進

生涯学習スポーツ課

基本施策1 「教育・生涯学習環境の整備」

1 市民の学習活動のための環境整備

(1) 阿木公民館の改築事業（継続）

阿木公民館(阿木交流センター仮称)の改築に向け実施設計を行う。

2 スポーツ施設の効果的な運営と施設の整備

(1) ウォーキング・ジョギングコースの設定（継続）

地域住民の身近なスポーツを促進するため各地区にウォーキングコースを設定する。

(2) スポーツ施設の再編方針に伴う調整（継続）

施設運用管理マスタープランに基づき、関係団体や地域と施設の統廃合・移譲に関する調整を行う。

(3) 指定管理等によるスポーツ施設の効率的な運営（継続）

適正な受益者負担のもとスポーツ施設の維持管理（49施設。うち指定管理20施設）を行い、5施設については指定管理の更新を行う。

基本施策2 「教育内容・生涯学習内容の充実」

3 学び、活かす楽しい学習

(1) 公民館での各種講座の開催（継続）

各公民館にて地域づくり型講座を中心に、市民の自主的な学習活動の充実に向け、講座を開催する。

(2) 市民大学講座、市民企画講座、私が講師事業の開催（継続）

より質の高く幅広い学習機会を提供するため、市民力を活用した講座を開催する。

- ・市民大学講座の開催

- ・市民企画講座、私が講師事業登録講師による講座の開催

(3) サークル、団体活動のPR機会の創出（継続）

市民の学びの成果を発表し、学習活動の振興を図る。

- ・広報、HP、公民館まつりなど様々な機会でのPR

4 親子が幸せに育つ家庭教育

(1) 各公民館での乳幼児学級の開催（継続）

親子のふれあい、親同士の交流、学びの機会を市内全公民館で開催する。

(2) 小中学校での家庭教育支援事業の実施（継続）

地域・家庭における子育て力向上を目指し家庭教育学級の支援を行う。

- ・PTA等を通じた家庭教育の周知、全小中学校での開催支援

(3) 子育てサポーターの育成と派遣（継続）

地域の親子の身近な存在として、子育ての担い手となるサポーターを充実させる。

(4) 家庭教育推進会議の開催（継続）

子どもを安心して生み育てる環境づくりのため、学校・家庭・地域の連携を図る。

- ・推進会議の開催（子育て世代のニーズの把握と共有）

(5) 家庭教育支援員の配置（継続）

きめ細やかな支援を行えるよう、支援員を配置する。

5 未来を切り拓く子どもたちの育成（青少年の健全育成）

(1) 少年の主張（市・県）大会、青少年健全育成大会の開催（継続）

青少年育成、活動発表、PRの場として開催する。(少年の主張岐阜県大会は中津川市にて開催)

- (2) 悩みごと電話相談開設と地域ごとの補導活動実施(継続)

電話相談を開設するとともに、市民会議各支部で補導活動を実施する。

- ・毎週月、水、金曜日に開設及び長期休暇時に重点的に補導活動を実施

- (3) ジュニアリーダーの育成(継続)

中津川市子ども会指導者連絡協議会を支援しジュニアリーダー育成を図る。

- (4) 地域行事への参画の推進(継続)

三世代交流の推進、子ども会活動、交流イベント等の支援を充実する。

- ・元気キッズ事業費、青少年健全育成活動費の助成と各地域で開催する行事への参加促進

- (5) 夏休み子ども講座の開設(拡大)

公民館を利用し、体験型の講座を開催する。

- (6) 放課後子ども教室の実施(継続)

放課後の安全な子どもの居場所としての教室を開催する。

- ・下野、田瀬、高山、阿木、山口地区及び新たに福岡地区で開催

6 健康で、ライフステージに応じたスポーツ

- (1) 「夢の教室事業」の開催と「子ども金メダル事業」の実施(継続)

トップアスリートを招き「夢を持つこと・仲間の大切さ」を伝えるとともに、子どもの頑張りを称え自信と誇りを育むため大会等での成績優秀者に金メダルを授ける。

- (2) 第2回清流木曾川中津川リレーマラソン大会の開催(継続)

地域、職域、仲間等の絆づくりとともに参加チームの増加を進め、市民のスポーツ推進を図る。併せて「リニアのホームタウンなかつがわ」を発信する。

- (3) ウォーキング等の推奨及び軽スポーツ教室の開催による一市民1スポーツの推進(継続)

関係団体と連携し、各地区に設定するウォーキングコースを活用した取組みを実施する。

- ・各地区でのウォーキング・ジョギング教室、イベント等の実施
- ・8万人のヘルスアップ事業と連携し、ウォーキング・ジョギングに関する啓発の推進

- (4) スポーツフェスティバルの開催と8万人のヘルスアップ事業との連携(継続)

スポーツによる健康づくり推進のため、軽スポーツに触れる機会を提供する。

- ・各種軽スポーツ・レクリエーション体験会及び教室を実施

- (5) 市内外のトップアスリート招致事業による競技力の向上(継続)

トップアスリートを招致し、競技力向上のための体験、教室、イベントを開催する。

- (6) 第10回岐阜県民スポーツ大会の実施(中津川市主会場)(新規)

第10回岐阜県民スポーツ大会の主会場として、開催への運営協力、支援を行う。

基本施策3 「市民が参加する教育体制の整備」

7 活力ある地域づくりの推進

- (1) 地域活動のキーパーソンやコーディネーター等の人材育成講座開催(継続)

地域課題解決にむけた人材育成講座を『やさか地域』で開催する。

- (2) 公民館を拠点とした地域づくり事業の推進(継続)

地域住民による公民館の指定管理に向けた、体制づくりを推進する。

- ・苗木、付知で公民館の一部業務委託を実施

- (3) 運営委員会等による公民館事業の活性化(継続)

未組織地区での運営委員会等の発足により市民の公民館事業の企画・運営への参画を進める。

8 ボランティアの支援と協働推進

- (1) 子育てサポーター養成講座の開催（継続）
質の高い支援を維持するため養成講座を継続開催し、サポーター数を増員する。
- (2) スポーツ行事へのボランティア参加の機会創出（継続）
各スポーツ行事においてスポーツボランティアの出番をつくり、『支えるスポーツ』人口の増加を進める。

9 ふるさとの絆を深める事業

- (1) 総合型スポーツクラブの活動・設立支援（継続）
住民主導による世代を越えたスポーツ行事等の推進により地域全体の元気、活力を生み出す。
・設立3年以内のクラブに対する支援
- (2) 地域スポーツ団体等との連携強化（継続）
体育協会、スポーツ少年団等と連携し、スポーツを通じた地域づくりを推進。
- (3) 交流、コミュニティ行事としての区民運動会等の実施（継続）
各地区のコミュニティづくりのために区民運動会等のスポーツ行事を推奨し、体育協会各支部への支援を行う。

10 国際・国内交流の推進

- (1) 中学生海外派遣研修事業の実施（継続）
国際感覚やコミュニケーション力を育むためタイ等の海外へ中学生等を派遣し、ホームステイや現地の人々との異文化交流を行う。
- (2) レジストロ市、対馬市、小諸市、大磯町との交流（継続）
相互に訪問を行っているブラジル レジストロ市への訪問準備を進め、姉妹都市提携をしている市町とは児童交流やイベントへの参加などにより交流を深め、継続する。

■ 図書館

基本施策1 「教育・生涯学習環境の整備」

1 市民が等しく享受できる読書環境整備

- (1) 図書館資料の充実（継続）
全市でひとつの大きな図書館という考えに立って、資料収集と利活用の充実、各地域公民館図書室への支援を行う。
 - ・ 済美図書館や公民館図書室等の地域特色をもった魅力的蔵書構成への支援
 - ・ 他館との資料の相互貸借制度の積極的活用
 - ・ 録音図書、点字図書、大活字本の充実と利用拡大
 - ・ 雑誌スポンサー制度の拡大
- (2) ネットワークシステムの運用（継続）
「いつでも、どこでも、だれでも」等しく読書に親しめるように、情報ネットワークによる窓口サービスや情報提供、配本カーによる資料配送ネットワークを運用する。
 - ・ 中央、済美、各公民館図書室・図書コーナー等及び幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学の図書館や老人福祉施設、企業、各種団体とのネットワークの強化
物(施設・備品)・・・配本カーを活用したサービスの拡充
情報(資料)・・・各公民館を中央館と結んだ全市的図書館情報ネットワークの活用
人(人的支援)・・・専門知識を持つ職員による選書や配架等の巡回支援
 - ・ ホームページ等を活用した利用者が親しみやすく使いやすい図書館案内と利用拡大

- ・ 文化振興課と連携した古文献アーカイブの利用促進

基本施策2 「教育内容・生涯学習内容の充実」

2 人づくりにつながる読書活動

(1) 読書活動の普及と推進（継続）

「学び、活かす市民」を実現するために、だれでもが取り組むことができる読書活動を推進する。

- ・ 「中津川市民読書基本条例」の普及
- ・ 「中津川市子ども読書活動推進計画」の推進
- ・ 読書活動の推進における地域公民館との連携強化
- ・ 幼稚園、保育園、学校、地域の図書室等の読書活動への支援や読み聞かせサポーター、図書館サポーターの派遣
- ・ 館内でのお話し会、読み聞かせの実施および市内の幼稚園、保育園への訪問読み聞かせの実施
- ・ 乳幼児期からの読書習慣の醸成
- ・ 市役所各部局、企業、病院への資料活用啓発と事業連携

(2) 講座・講演会・イベント開催（継続）

読書活動を推進するために、「市民と図書館」、「市民と資料」、「市民と市民」を結びつけることを目的として行事を開催する。

- ・ 読書推進行事の充実
 - 全市に向けた読書啓発行事（第6回図書館まつり・第7回はがきコンクール・第9回中津川えほんジャンボリー）の開催
 - 地域での読書活動関連イベント（地域ごとの図書まつり等）、企画等への支援
- ・ ヤングアダルト・大人向けの読書イベント（朗読会、図書館ミニゼミ）等の実施

基本施策3 「市民が参加する教育体制の整備」

3 ボランティアの支援と協働推進

(1) ブックサポーターの育成（継続）

市民とともに作りあげる図書館運営の取り組みを維持するために、人材の育成を継続する。

- ・ 各養成講座の開催（読み聞かせサポーター、図書館サポーター、図書館ジュニアサポーター）
- ・ 養成講座修了後の活動の場の提供・支援と協働事業の拡大
- ・ 幅広い市民協働による図書館環境の充実

■ 文化振興課

基本施策1 「教育・生涯学習環境の整備」

1 市民が等しく享受できる読書環境整備

郷土に関する江戸期の歴史資料をデジタルデータ化し、学習便宜を図る。

(1) 歴史資料のインターネット公開とシンポジウムの開催（継続）

2 人づくり、まちづくりに活かす文化施設の再編と整備

文化芸術の振興の拠点である文化施設等を、効果的に管理するため整備を行う。

- (1) 美術館を含む博物館等の再編整備の基本的な構想に着手（継続）
- (2) 文化会館耐震改修事業の基本計画策定（新規）
- (3) 文化施設の管理運営（継続）
 - ・ 指定管理：中津川文化会館（指定管理者 中津川市文化協会 H29 年度まで）
 福岡ふれあい文化センター（指定管理者（予）ふくおかまちづくり協議会 H31 年度まで）
 常盤座（指定管理者（予）ふくおかまちづくり協議会 H31 年度まで）
 - ・ 直営管理：アートピア付知交芸プラザ

3 市の特色を活かした歴史文化資源の整備

ふるさとの宝であるかけがえのない文化遺産を地域の活性化のため、整備し、活用する。

- (1) 国指定史跡「苗木城跡」整備保存事業【二の丸跡領主居間石垣】、観光活用（継続）
- (2) 苗木城跡周辺土地購入、駐車場整備（新規）
- (3) 国指定史跡「中山道」内の「落合宿本陣」整備事業（継続）
- (4) 指定文化財の保存・整備・活用（継続）
- (5) 指定文化財の保護、調査活動（継続）
 - ・ 文化財保護審議会委員への指定文化財情報の提供（継続）
 - ・ 各地区文化財保護員の活動報告会議の開催（継続）
- (6) 芝居小屋（明治座、常盤座）の公開（継続）

基本施策2 「教育内容・生涯学習内容の充実」

4 守り・育てる中津川の文化

市民の身近な芸術文化活動の支援、啓発のため、人材育成、発表の場の提供などを行い、地域への誇りや愛着を深める。

- (1) 文楽・地歌舞伎等の地域伝統芸能の活動支援（継続）
 - ・ 第22回岐阜県文楽・能大会開催（会場：東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール）
 - ・ 第25回飛騨・美濃歌舞伎大会（会場：明治座）
- (2) 郷土の先人顕彰（継続）
 - ・ 第8回前田青邨記念大賞募集開始（継続）
 - ・ 第11回島崎藤村記念文芸祭（継続）
 - ・ 熊谷守一つけち記念館との連携及びつけちギャラリー活用推進
- (3) 第66回市民展（洋画、日本画、彫刻、版画、書、写真、工芸）（継続）
- (4) 各地域文化協会・文化団体の自立活動の支援（継続）
- (5) 各種芸術・芸能・文化事業の後援等（継続）
 - ・ 三國連太郎を語る映画祭（中津川映画祭実行委員会共催）
 - ・ 青邨没後40年特別展（ロータリークラブ創立60周年記念事業）
- (6) 国・財団等助成金の活用促進による文化遺産や地域文化の保存継承（継続）
- (7) 文化事業（継続）
 - ・ 中津川文化会館：音楽、演劇、映画、市民参画事業
 - ・ 東美濃ふれあいセンター：演劇、伝統芸能（歌舞伎等）
 - ・ アートピア付知交芸プラザ：映画
 - ・ 福岡ふれあい文化センター：映画外
 - ・ 広報活動：ふれあい文化だより発行：毎月1日発行（恵那市・中津川市 新聞折込）
- (8) 埋蔵文化財の試掘調査（継続）

- ・ 青木斧戸線計画用地発掘調査
- ・ 開発予定地の試掘調査
- (9) 第19回明治座クラシックコンサート（継続）
- (10) 2017常盤座演劇フェスティバル（継続）

基本施策3 「市民が参加する教育体制の整備」

5 ボランティアの支援と協働推進

郷土の学習、研究などを進めていくための市民参加を支援、育成する。

- (1) 郷土資料調査や文化財保護の人材育成（継続）

■ 鉱物博物館

基本施策1 「教育・生涯学習環境の整備」

1 人づくり、まちづくりに活かす文化施設の再編と整備

郷土の先人の美術遺産の収集、保存、展示等を行う施設整備を行い、文化の継承につなげる。

- (1) 美術館を含む博物館等の再編整備（継続）
- (2) 子ども科学館屋根修繕（新規）

基本施策2 「教育内容・生涯学習内容の充実」

1 学び、活かす楽しい学習

各館での特色を活かした講座、教室等により、より充実した博物館運営を行い、市民の学習意欲の向上を図る。

- (1) 博物館等での学習機会の提供、学習内容の充実（継続）
 - ・ 中山道歴史資料館
 - 歴史講座、古文書入門講座を月2回開催、歴史講演会の開催、通訳ボランティアの試行、3年生、4年生、6年生及び、幼稚園、中学校、高校、大学、一般への出前講座の実施
 - ・ 苗木遠山史料館
 - 古文書教室月1回開催、土曜歴史講座、金曜講座の開催、市内小中高生等への団体学習
 - ・ 鉱物博物館
 - 夜明けの森こんもり山プロジェクトほか教室の開催年20回、GSSSへの協力、各小学校等の見学受け入れ、ストーンハンティング等の受け入れ、小学校等への出前講座
 - ・ 子ども科学館
 - 各種教室年10回、夏休み工作相談、天体観測会、ミニ工作祭り、プラレタリウム実演 末松安晴先生顕彰室の充実、活用

2 守り・育てる中津川の文化

各館での収藏品データベースの充実や、各館での特長を生かした企画展等を行い、より多くの利用者に来館していただき、博物館の魅力を伝える。

- (1) 文化財等の展示公開と愛護意識の啓発（継続）
 - ・ 各館での収藏品等のデジタル化の推進
- (2) 博物館等での調査、研究、展示事業（継続）
 - ・ 中山道歴史資料館

- 年2回の企画展、六斎市特別展の開催
- ・ 苗木遠山史料館
 - 春の企画展「苗木藩の参勤交代」（仮称） 冬の企画展「大名料理復元展 No 2 4」の開催
 - 「ふるさとの先人—前田青邨展」（仮称） 主催前田青邨特別展開催実行委員会
- ・ 鉾物博物館
 - 第21回企画展、「青い鉾物」（仮称）
 - 第37回私の展示室「海と川のなかま—木彫りの魚たち」（仮称） 第38回私の展示室の開催
 - 収蔵品のデータベース充実
- ・ 東山魁夷心の旅路館
 - 第I期展から年4回の展示替
- ・ 広報活動
 - 各館の事業内容を広く市民に伝え、入館者等の増加をめざす。（機関誌「恵那山」の回覧等）

基本施策3 「市民が参加する教育体制の整備」

3 ボランティアの支援と協働推進

地域の博物館として、市民や利用者とともに進む博物館を目指す。

(1) 博物館でのボランティアの育成支援（継続）

- ・ 友の会等との連携により、市民参加を促す。

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 中央 公民館

2 重点方針

1. 行政主導から、利用者との協働による公民館の運営へ移行する。
2. 生きがいのある人生を送るため、生涯学び続けるための場・機会・情報を提供する。
3. 地域の学習・交流拠点として、にぎわいのあるまちづくりを推進する。
4. 未来を切り拓く子どもたちの健全な成長を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域づくり学習	“学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「熟年大学」「女性大学」で、日常生活の中にある課題について学ぶ。併せて受講生同士の交流で仲間づくりを図る。 ・「乳幼児学級」で、幼い子どもを持つ母親同士の交流の場を作り、社会での孤立を防ぐ。母親としての視点で自らの学びを啓発する。 ・「歴史案内講座」で、自分の住む地域について学び、郷土への関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「熟年大学」「女性大学」「乳幼児学級」はアンケートを実施し、受講生が学びたいことを中心に実施する。
	健康づくり講座	生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「体を動かす」「食事に注意する」「認知症を予防する」など「8万人のヘルスアップ」の一端を担えるような講座を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、利用者は年配の女性が多いことから、男性や若い世代の利用者が増える講座を企画、実施する。
	文化・教養講座	“いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで継続してきた各種講座に加え、利用者にも参加していただきたい「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域のおじさんおばさん運動」の会員登録者を増やす。 ・大人だけが活動するのではなく、小中学生が参加できる事業を行う。
	青少年健全育成推進	次代を担う青少年が心豊かだけでなく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間巡回補導活動の実施、また「地域のおじさんおばさん運動」を推進し子どもの安全を守る。 ・各地域での子どもたちの活動を支援する。 ・視聴覚クラブの協力により「夏休み地域映画会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は第38回となる。現在の建物に建て変わってから継続して実施されている歴史のある行事。
文化	中央公民館まつり	1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。 ・展示、ステージ、囲碁、バザー、ガレージセールなど多様な部門それぞれが、日ごろの成果や活動内容を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料減免是非について議論される中、まずは利用者のマナー向上をめざす。
スポーツ	学校施設開放受付	社会体育の振興を図るため学校施設を借りて開放する窓口となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸し出しをする。 ・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸し出し業務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「友の会」が現在は任意加入となっているため、定期的に学習の場として利用している全ての団体に、今後の公民館について一緒に考えてもらえらるる組織としていく。
運営	利用者との協働	開かれた公民館となるよう利用者と協働で運営・管理を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館を学びの場としているすべての団体を対象とした「運営委員会化」を推進する。 ・利用者懇談会を開催する。 ・バス研修、公民館講座等の企画委員会を作り、利用者の声を直接運営に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者団体数は多いが、加入者が減ることで続けられないサークルが発生している。一方で、転入、退職等で何かを始めたいと望む方もいるので、架け橋となれるような積極的なPRを行う。
	公民館活動のPR	中央公民館がたくさんの方の“学びの場”であることをPRする。		

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

公民館名 苗木 公民館

重点方針

1. 家庭教育学級の充実に向け、自主的な学習活動の支援を行うとともに、リーダー的な役割を果たす人材の育成に努め、活動の更なる推進を図ります。
2. 子ども達が人間性豊かに成長できるように、青少年の健全な育成は社会全体の責任という認識のもと、学校・家庭・地域が相互に連携して、子ども達が安心して暮らせる環境づくりを推進します。
3. 芸術協会や風流おどり地元連などの各種団体と連携し、次世代へ繋げていくための後継者育成活動を支援し、伝統文化の保存・継承の推進を図ります。
4. 体育協会と連携し、スポーツ活動を通じて住民同士の親睦と体力増進及び地域づくり活動を支援していきます。
5. 公民館の新築に伴い利用団体や住民の意向収集や住民の意向収集に努め、地域づくりの拠点として親しまれるような施設の運営を目指します。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	子育てサロン	子育てに関する学習の場として、仲間づくりと自主的な活動を支援し、家庭及び地域の教育力向上を図る。	防災、食育、わらべうた講座、などを実施。	地域の各団体との協力を増やし、内容の幅を広げることを検討中。
	びっころ【乳幼児学級】		月ごとに受講生が順番に会の内容を企画・運営している。季節の行事、講話、お楽しみ会などを実施。	
	青少年健全育成事業	家庭・学校・地域がそれぞれの役割を認識することにより、各関係団体を含めた地域全体の連携を深め、青少年健全育成活動の一層の推進を図る。	年4回の支部活動を通じ、関係団体と積極的な情報交換を行う。青色防犯パトロール車による夜間巡回活動を毎年実施。また、保小中への図書寄贈などを継続的に実施し、併せて読み聞かせ講演会なども開催。新成人への記念写真の贈呈など幅広い年齢層に対して活動を行う。	支部事業について、活動の更なる展開を目指し役員会を中心に検討を重ね、関係する他団体との更なる協働体制の構築を図っていく。
	公民館講座	学習に関する情報や学習機会の提供など、地域住民の学習活動を支援し、住民や学習者の活動促進を図る。	習い事等の趣味的な講座のほか、区民大学や栄養教室など日常生活の中における身近な課題について学ぶ学習講座を開講。男性の参加を企図するほか、幅広い年齢層の参加も図っていく。	住民の意向把握に努め、内容の見直しなど次年度以降の講座開設に向けて検討を行う。
文化	苗木文化交流まつり	サークルや講座の活動の成果を区民へ披露する場を創出する。芸術や文化に触れる機会を充実させるとともに、住民の学習活動への参加意欲を高める。	保育園、小中学校のほか、地域住民やサークル、公民館講座等において製作した作品を展示及び公民館利用団体のステージ発表を披露する。	地元福祉施設にも参加を呼びかけ、地域交流の場として位置付けていく。地域住民による同年度の中津川市民展入賞作品を招待作品として展示する。
	風流おどり伝承	風流おどり発祥の地である苗木地域の伝統芸能をどたえさせることのないように次の若い世代へ伝承していく。	高齢化による『連』メンバーの減少が目立ち、今後の活動が危惧されるため、「苗木小学連」への指導・支援を通じ後継者づくりを推進する。	「苗木小学連」の活動も軌道に乗ってきており、継続的に指導・支援を行っていく。
スポーツ	各種スポーツ大会、教室	住民の健康や運動習慣、体力づくりへの関心を深めるとともに、地域内の親睦を深める。	バレーボール、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール、健康マラソン等の各大会や軽スポーツ講習会などを開催する。親子一日教室として、スケート教室を開催する。	住民の意向収集に努め、苗木体育協会と連携を取り、住民ニーズに沿った事業内容を検討していく。
	交流スペースの充実	地域の方に親しまれ、気軽に利用できる交流スペースを目指す。	交流スペース内に図書コーナーがあり、各種ボランティア団体とも連携して読み聞かせ活動などを行う。地域の子供達が勉強しやすい環境をつくる。	
運営	区民の声の反映	公民館運営委員会を中心に地域住民の声を聴き、管理や運営等に反映させる。	地域住民や利用者、各関係団体等の意見を聴きやすい公民館にする。	
	指定管理に向けて	平成30年度からの公民館指定管理を円滑に進めるよう取り組む。	公民館指定管理に向けて準備調整を行う	指定管理先に苗木地域まちづくり推進協議会を予定

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

2 重点方針 「さかもと」キヤッチフレーズ！！

「さ」=さわやかな笑顔で、「か」=かるやかに動き、「も」=モットーさかもとを良く知ろうと、「と」=とりくみます！！

1. 公民館活動は、地域に住む人々と密接につながる重要な学習の場であり、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいっそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育学級の充実のため、子ども学習教室、サークルの開催を支援するとともにリーダーを育成し、将来を担う子どもを皆で育てる環境の醸成に努める。
3. 青少年健全育成坂本支部と見守り隊などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康・体力づくりを推進する。
5. 坂本ふれあい施設と連携を図り、乳幼児の親さんの子育て支援と子どもと高齢者とのふれあいを推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座の開設	住民の身近な学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり、人づくりのため推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人をつながりや、地域づくりボランティア活動への契機としていく。	生きがいづくり、仲間づくりを図る。
	高齢者大学 「はなのき大学」	高齢者が元氣よくいきいきと暮らせるよう、また積極的に社会参加できるように支援する。今年度41年目を迎える。	市内外の講師を招き健康・歴史等の講話開催、社会見学と歩け歩け大会では癒しスポットと美味しいランチを計画します。また自主サークルのカラオケ、民謡クラブなどを組織する。	受講生の活動記録を掲載した文集を発行している。
	青少年健全育成 図書の実施	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として子ども会を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。もちろん中学校への健全育成も目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の子ども若者育成支援強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	子ども会の親子行事に元氣キッズ事業を活用する。
文化	第42回公民館まつり	公民館の図書コーナーを活用し図書の充実を図る。	図書コーナーを利用してもらい、中央図書館と連携し二一ズのある図書を提供する。	コーナーに四季のイベントを飾る！！
スポーツ	第46回区民運動会 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会、作品展示会を開催する。	展示部門とステージ部門の発表会を行います。 地域の団体である飛翔の里の合唱を招き、交流します。
運営	公民館利用者懇談会	スポーツを通して区民の健康、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を中心に区民運動会、ソフトボール大会等を開催する。また学校施設を利用して、スポーツ教室を年間を通して開催する。	体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
		公民館の管理や運営に対して充実を図る。	公民館を利用するサークル等団体の課題を解決するため利用者の意見を聞き運営、支援をしていくことで、活動の活性化を図り地域づくりに活かして行く。	社会教育委員さんと実施する。

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と場所を提供するとともに、地域の各団体を連携して地域力を高めるための支援をしていく。
2. 家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊かに育つ環境づくりを推進する。
3. 地域の歴史文化への理解を深める機会を積極的に提供するとともに、伝統芸能の復興を支援することにより地域の絆が強くなるような環境づくりを努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図り、健康で心豊かな人づくり、地域づくりをするため、スポーツ関係団体などとの連携を一層強化する。
5. まちづくり推進協議会が策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」の実現を目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項
生涯学習	公民館講座	地域のみなさんの自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに、仲間づくりなどによる潤いのある生活と健康の増進、感性の醸成を図ることを目的に開催。	年間を通し各種教室・講座(5～10回中心)を開講・教室…女性大学、歴史教室、子ども(親子)教室等・講座…従来の文化スポーツ講座に地域性を組み入れる(健康体操、ヨガ、スポーツ吹矢、陶芸)	自主的な講座運営を目指し、自主サークルへ移行できるように支援する。
	キッズクラブ(乳幼児学級)	乳幼児を子育て中の親さんを対象に、仲間づくり・子育て・遊びなど親子で学ぶ居場所とする。	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び(親子の関係・あいさつ・行動・寝など)を組み合わせ、毎月1回1年間を通して自主的な活動運営を高める。	老人クラブとの連携を密にして三世交代交流づくりを深める。
	自主活動サークル支援	公民館を利用し地域づくり活動に積極的に活動しているサークルを情報提供や、事例紹介、広報活動などで支援し地域の活性化につなげる。	市民協働課で実施している「がんばる地域サポート事業」の採択団体を中心に協働のまちづくりの観点から各種アドバイスをを行う。	成果物ができることによる会員の自信、次へのステップにつながる。
	元氣キッズ事業 【青少年健全育成】	異年齢集団による体験活動により、地域の人との交流を深めるようにする。特に、小学校高学年・中学生の参加促進を促す。	各学区単位の地域子ども会の活動を通して異年齢交流や地区行事に積極的に参加を促すことで子どもたちの出番と居場所づくりを支援する。 ・どんど焼き、夏休み合宿、三世代ウォーキング等	保育園、小学校、中学校と連携を強化する。 園長・校長・館長の四長会議の開催。
文化	図書展示ルーム	誰もが気軽に集える場所とする。	図書館と連携しながら利用者の学習ニーズに応える。	多目的会議室としても利用する。
	落合公民館まつり ・ステージ発表会 ・作品展示会 ・史跡等総合活用整備事業 ・落合宿本陣修復工事 ・落合宿本陣公開事業	子どもから大人まで文化・芸術に親しむ場と日頃の成果を披露する機会を提供するとともに、皆の交流の場とする。 地域の伝統文化の継承、個々の文化活動を高めるとともに、活動を通して地域づくり活動に結びつける。	サークルや講座の利用者が主体となり、企画してステージ発表、作品展示で成果発表する。 併せて、個人・保・小・中の子どもの1年間の活動(学習)成果発表をする。	「楽しくなければ公民館じゃない!」をメインテーマに開催。 落合宿本陣の公開管理業務を地域活性化に繋げるように支援する。
スポーツ	体育協会落合支部事業	地域のみなさんの健康の維持・増進と仲間作りを目的とする。	体協落合支部行事の支援。 まち協の文化スポーツ部会も協力して取り組む。	健康ウォーキング大会の開催。 新春マラソン大会の開催。
	落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョンの実現	コミュニティスポーツ(ウォーキング、マレットゴルフなど)を気軽にできる環境を創出する。	まちづくり推進協議会で策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」具現化を推進する。基本理念は「あなただけらしく わたしらしく 生涯スポーツを!」。	健康ウォーキング大会の開催。 落合石量マレットゴルフ場を拠点に生涯スポーツであるマレットゴルフ愛好者の増加を目指す。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。地域住民のニーズを把握する。	日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす。	公民館の指定管理者制度の研究をテーマの一つとする。

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 地域住民の日常的な学習活動の拠点として、学習を重ねることを重視し、暮らしにかかわるさまざまな課題や希望を支える拠点を目指します。
2. 地域の人々のふれあいの拠点として、人々が住み慣れた地域で快適で安全に集うことができる場を確保し、公民館の行う事業や公民館を利用して行われる活動をととし、地域づくり・まちおこし・健康づくり・地域ボランティアへの発展を目指します。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、家庭・地域・学校が一体となり、地域の特色や人材を十分に活かして、地域の子どもの育ちを支えます。
4. 家庭教育の支援として、子育てサークルの自主的な活動を尊重しつつ、子育て学習への取り組みの支援を行います。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座・学習教室	趣味の講座や学習教室とおして、誰もが安心して暮らしやすい地域の創造に向け、人と人とのつながりやふれあいを育て、地域づくり・地域おこし・健康増進・地域ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	公民館講座 民謡教室で若い世代に参加してもらい、阿木音頭などの文化継承を図る。 学習教室 暮らしの教室、地域の課題を考える教室などや、認知症予防のためのコグニサイズ教室など福祉・健康関連を取り入れていく。	地域づくり、地域おこし、健康増進、地域ボランティア活動に結びつけるよう年度テーマを設定し新しいプログラムを考え実施する。
	わくわく広場(乳幼児)【未就園児と保護者】	0～3歳児を持つ親の交流とおして、親子間のコミュニケーションを深めることや、子育てに関する学習や悩みへの解決、保護者交流をねらいとする。	週2回(火・木)阿木地域振興センターで開催。リーダーを中心として自主的な運営がされているが、計画づくりの段階で積極的に子育て学習などについてのニーズを把握し、提案や支援を行う。	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。 乳幼児学級を年数回行い、会員以外の親子にも交流と学習の場を提供する。
	みちくさ教室 (阿木子ども公民館)	子どもたちの様々な体験、学習、交流とおして健全な育ちを支えようと共に、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、地域外研修、地域を知ることで、昔の遊びを伝える場をもうけ、地域の大人との三世代交流などを行う。 放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、社協阿木支部、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
	いきいきねっと事業	地域の若者からお年寄りの「英知と力」を結集して、住みよくて、温かみある里づくりを推進する。	地域の安全安心を守りながら、子育て支援に力を注ぐとともに少子化問題に取り組む。	阿木区長会と共に地域課題や地域イベント等をバックアップしていく。
文化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	阿木文化連盟に所属する団体のほか、阿木公民館を活動の拠点とする各種文化関係団体の一年間の活動成果を発表する場とする。	日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民謡や詩吟、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
スポーツ	阿木体育協会および、阿木あんきスポーツ倶楽部との連携・協力	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図るため各種の事業を連携して開催する。	カヌー教室 阿木区民運動会 ノルディックウォーキング スケート教室 新春マラソン その他各種スポーツ大会および教室、講演会を開催する。	
運営	利用者の声の反映	公民館の運営や運営に利用者の声を活かす。	日頃の公民館使用や会議の場などから利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 神坂 公民館

2 重点方針

- 1、生涯学習の推進・・・地域住民に学習機会の提供や交流の場として、各種講座を開講する。
- 2、青少年健全育成の推進・・・家庭・地域・学校が連携し、子ども達が安全で安心して育つことができる地域づくりを支援する。
- 3、馬籠地域との連携・・・様々な機会を通じて神坂・馬籠地域住民の交流を支援する。
- 4、地域づくりの推進・・・東山道もみじまつり等を通じて地域づくりに向けた住民の交流を支援する。
- 5、公民館活動の充実・・・地域住民の学び場として、場所や情報など必要に応じた援助を行う。

3

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	高齢者大学「湯舟沢大学」 女性学級	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがいつくりを支援する。	年7～8回 女性学級と合同開催	
	公民館講座	仲間づくりや健康づくり、学習の場をとおして、豊かな生き方に結び付ける	多くの地域住民が気軽に参加できる、学習機会と仲間づくりの場を提供する。	こども向け新規講座開講予定
	乳幼児学級「わんぱくらぶ」	子育ての仲間づくりと親子の学び場づくりを支援する。	読み聞かせ・リトミック・遠足等 年10回開催	山口の乳幼児学級と年1回合同開催あり
	青少年健全育成推進	神坂・馬籠が連携し、体験活動等青少年健全育成の強化を図る。	環境美化空き缶拾い&ますつかみ・かるたとり大会等	
文化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民の日頃の成果の発表や、地域住民の交流を支援する。	幼・小・中学校と神坂・馬籠地域住民の参加による作品展 示とステージ発表。	
	東山道もみじまつり	地域の観光PRと地元特産品の即売、地産地消の推進など学校も参加し地域住民の交流の場とする	もみじ狩りとウオーキング・神坂の歴史講話・特産品の即売・無料豚汁サービス等 各イベント	雨天決行
スポーツ	湯舟沢リバーサイドマラソン	健康と体力づくりの関心を深め神坂・馬籠地域住民の交流の場を支援する。	小学校低学年・高学年・中学女子・男子・一般・親子でマラソンを実施し、その後ウオーキング教室を開催。	
	神坂学校・地域親善大運動会	学校と神坂・馬籠の地域住民と地域団体が一体となりスポーツで親睦を深める支援をする。	幼・小・中学校と地域(神坂・馬籠)・消防団・老人クラブ等が参加し、地域全体として運動会を開催。	
運営	調整会議	学校・地域(神坂・馬籠)・各団体の行事が重複しないようにする。	幼・小・中学校・地域(神坂・馬籠)・各種団体代表によるスケジュール調整	
	広報みさか発行	地域内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。	毎月1回 地域情報提供 全戸配布	
	乳幼児図書コーナー	読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。	事務所の一角を図書コーナーとし、乳幼児の絵本・紙芝居等を設置。貸出等にも対応。	

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

2 重点方針

1. 多くの地域住民が気軽に集うことのできる公民館、及び地域づくり、人づくり、生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 地域の子どもは地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自立できる社会環境づくりに努めます。
3. 地域における活動や人材を結びつける視点を持って活動に取り組みます。
4. 地域文化の向上と文化活動を通じた住民の交流を支援できるような文化振興に努めます。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項
生涯学習	熟年者大学「生きがい大学」	熟年者(60歳以上対象)が生きがいを見つけ、日々をより豊かに送るための支援をする。外に出て運動をしたり話したりする場所を提供。	年10回開催(6月～3月) 教養講義、スポーツ実習、体験研修、文化交流会など実施。	体験研修で蛭川・福岡公民館との3地区交流事業を年1回開催。 健康を重要視、マレットゴルフを昨年から取り入れた。
	公民館講座	地域の人たちを仲間づくり、健康づくり、学習の場を通し、心豊かで充実した生き方につけることができるような生活に結びつける。	地域づくり学習、健康づくり体験実習、文化教養講座など 地域に根ざした各講座の開催。 やさか地域合同講座の実施。わくわく体験くらぶ、文化歴史散歩講座、茶道教室などの事業を開催。	年々参加人数が減少傾向にある。 二一ズの掘り起こし、魅力ある講座に近づけるべく新規講座を導入する。
	乳幼児学級「にここ広場」	乳幼児期の家庭における教育力の向上と、親子のふれあいを、お母さん達の交流を図る。	年10回開催 0～3歳児を持つ親子を対象 親子のふれあいを楽しみ、子育て世代向けの学習や体験交流を行い、子育てを面白く学習する場。	子供の躰け(教育)を一緒に遊びながら、ママ友をつくりながら、面白い雰囲気なかで展開。
	青少年健全育成推進	山口地域の独自性を意識し、他の組織と連携しながら地域ぐるみでの子供たちの育成を進める。	市民会議山口支部事務局として、活動を支える。 危険箇所点検、街頭啓発、推進大会、教育のつどいなど やさか地域事業を連携協力し実施。	まち協、社協など他の団体との協働で事業を展開する。 「地域のおじさんおばさん運動」の推進として会員登録を増やす。
文化	地域文化の振興	地域の文化芸術活動を支援することにより、住民の文化意識を向上させ、面白く伝える。	山口・馬籠文化協会主催の所属団体による文化芸術祭(展示・芸能部門発表会)の開催を支援する。 やさか地区の文化交流会の支援。	幼稚園、小学校の作品、一般の工芸品の展示。公民館利用のサークル発表。やさか地域の交流の場として昨年度から実施している。
スポーツ	住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を創出し、住民の交流とスポーツ活動参加へのきっかけをつくる。	体育協会支部と連携し、ウオーキング・スキーク教室・マレットゴルフなど気軽に参加できる事業を開催する。	地元住民がより多く参加できる事業をまち協・体協と協議しながらより良い形で具現化していく。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理、運営を円滑にし、公民館活動の活性化を図る。	年2回開催 公民館利用者でもある委員の声を聞いて、地域・時勢・住民に合った活動となる、また地域の拠点となる公民館を目指す。	まち協、体協の代表、小学校校長、PTA会長、公民館利用団体の代表が主なメンバーで広く意見を聞く。
	図書室	児童図書の充実と地域の図書室として人づくりに繋がる活動を充実させる。	中津川図書館の協力を得ながら児童図書の充実を図る、同時に新刊のPRを適宜行う。 幼稚園、小学校への出前図書は二一ズに沿った内容とする。	2ヶ月に1回に入れ替え更新する。 学年別、先生向けもあつて好評。

3

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂 下 公民館

2 重点方針

Community Learning Center of the people , by the people , for the people .
 1. 人づくり…楽しくておもしろい公民館講座等を開催し、地域リーダーの活用・育成を図る。
 2. 絆づくり…親子の仲間づくり重点を置いて乳幼児学級・子育て学習等を推進し、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。
 3. 地域づくり…やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図る。地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児学級(ほほえみ教室)	就学前の親子を対象に、子育てを通して仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭教育の育成力を高める。	月一回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。やさか地区合同の乳幼児学級を二回程度設定する。	保護者の独創的な発想を大切にすると同時に、地域の人材の積極的な活用を図る。地域間の交流を図る。
	青少年健全育成活動	啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。	危険箇所の点検・街頭啓発活動、登下校の安全確保などの活動を実施して、子どもたちを地域で守る意識を高めて行う。子どもたち自身の企画・運営を大切にしながら楽しい活動を目指す。	地区(10)ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施。「地域のおじさん・おばさん運動」の推進を図る。
	わくわく体験くらぶ	やさか地域の小学生と保護者で体験活動と交流を行う。	地域の自然に触れたり、創作活動、科学実験等の各種体験に親子で挑戦する。	楽しくておもしろい多種多様な体験活動を想定、やさか地区合同での開催を追求。
	公民館講座の開催	若年層から高齢者まで学習機会と仲間づくりの場を提供し、地域づくり・ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	楽しくておもしろい講座での学習や体験を通して個々の能力の向上と活用を図り、世帯間交流を深める。	平成28年度並みの講座数を予定、地域人材の発掘とそれを活用した独創的な講座の設定に努める。
	教育のつどい・青少年健全育成推進大会	青少年の健全育成をめざした、地域の諸団体の連携の場とする。	園・学校・家庭・地域社会が情報を共有・発信しあい青少年に関わる一貫した取り組みを行う。	10月28日予定、やさか地区小中学校授業参観、実践発表または講演会などの予定
	図書室まつりの開催	子ども達の読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。	公民館図書室を知ってもらうきっかけづくりしたり、本の楽しさを広げる企画を行う。	小中学校夏休み期間中を予定。
	「花馬まつり」(坂下)の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛護思想の高揚を図る。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に行われる。	坂下民俗資料保存会と連携し、歴史民俗資料室の整理、展示、維持、運営方法を考究する。
	歴史・民俗資料の保存・伝承	地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め、史料館として有効活用する。	坂下民俗資料保存会と連携し、歴史民俗資料室の整理、展示、維持、運営方法を考究する。
	文化事業	文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎の公演なども行い、後継者の育成を試みる。	催す活動をサポートする。伎公演を予定。それぞれの団体が開10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞
	スポーツ	各種スポーツ大会の開催	スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供し、スポーツ機会の充実を図る。	坂下総合体育館、やさかイキキ倶楽部との連携強化を図る。
運営	公民館運営委員会	公民館等の管理や運営に利用者の声を活かす。	委員会・日ごろの公民館等利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所との連携の強化を図る。

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

2 重点方針

- 1 幅広い分野の学習を展開し教養を高める。
- 2 公民館を多くの住民が利用するように、要求に見合った活動を展開していく。
- 3 年齢を問わず参加できる体験活動を通じて青少年健全育成活動を充実する。
- 4 体育協会やまちづくり推進協議会と連携・協働し、文化スポーツ活動と地域づくり活動を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習、講座、情報交換を通じた仲間づくりを進める。	・月1回開催(やさか地区合同学級年2回含む) ・企画、進行等学級生が主体となって活動を行う	卒級生、老人クラブなどの託児サポート
	公民館講座の開設	学習を通して個々の能力の活用や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。	若年層から高齢者までの学習機会と仲間作りの場を提供する。	手織り・水中運動・星空観察・歴史教室
	青少年健全育成事業(川上)	関係団体や地域との連携を密にし、青少年の健全育成を推進する。	支部連絡会を開き、小中学校、警察、子ども会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。	ふれあい登山、木工教室、かるた大会
	青少年健全育成事業(やさか)	やさか地域が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。	やさかの公民館が連携を取り合って、情報収集、会議運営、諸行事の支援などを行う。	やさか教育のつどい、夏休み子ども祭
文化	青少年ボランティア参加促進事業	地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。	公民館がさまざまな役割となり、まち協、体協、文化協会、区長会等の事業に、参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。	区民運動会、文化祭芸能発表会、夕森もみじまつり、防災訓練
	公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ、図書室まつりの実施、保育園・小学校・診療所との連携を強化する。	図書室まつりは年2回実施。手づくり教室などを入れる。
	文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化を図る。	発表の機会を増やし、意欲を持たせる。	文化協会の自立
	文化財の発掘	家庭や地域に眠る文化財の発掘・保護に努める。	文化財を持ち寄って参加者で交流しその価値を再認識する。	レコード観賞
スポーツ	区民運動会	スポーツを通じ、老若男女が一堂に会し交流を深める。	体協が主導し、まち協を中心に区長会、地区体育推進員等諸団体が協力して盛り上げる一大イベント	住民の半数以上が参加する
	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じ、地域間・世代間交流の促進を図る。	・ビーチボール大会 ・グラントゴルフ大会(春季、秋季)	主催は体育協会
運営	公民館運営委員会の開催	地域の特色を活かした活動の活性化と地域住民の意見を大切にしたい運営を進める。	公民館運営委員会(各種団体、利用者等13名)を開催し、その意見を運営に反映させる。	

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

2 重点方針

1. 家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる場と機会を提供する(家庭教育)
2. 青少年育成区民会議活動を充実し、子ども連を核とした地域づくりを促進するための情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
3. 生涯学習活動を支援し、街づくりに参加する市民活動の原点を養う。(むらづくり協議会・NPOとの連携)
4. 健康を基礎とした人づくりをめざし、スポーツ・レクリエーションを推進する。
5. 伝統文化の継承を支援する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもの親を中心とした家庭教育に対する正しい知識を身につける。主体的な運営活動ができるようになる。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。	・乳幼児学級で地域間交流の実施(付知・東白川・白川等)・乳幼児と中学生の交流会
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育て、地域教育をみんな考えていく。	「加子母大好き、加子母に帰る子」育成のため小1～中3の「地域住民が先生」の授業。大学と連携し、中学生ワークショップ	毎年、11月最終日曜日。
	青少年健全育成事業	地域の区民会議活動を充実させ、地域全体で青少年健全育成活動を実践。	挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議で計画し、実践していく。	10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。
	明治座振興事業(風起こし)	明治座を管理し、広く公開をすることと明治座を核として、各団体をまとめながら地域活性化を図る仕掛けをしていく。	平成29年9月の指定管理以後の明治座を活用した文化振興事業によって地域振興につなげる。	明治座限取、歌舞伎体験、クラシックコンサート、トリエンナーレ、子ども達の舞台芸術教室
	公民館講座	年齢層に応じた学習内容、仲間づくりを目的に実施していく。	地域から要望の多い文化スポーツ講座、地域づくり講座を実施する。	平成2年度 地域づくり学習 2講座 文化スポーツ講座 3講座 短期
文化	図書室の利用向上	図書室の移転に伴い、今まで利用していないような年齢層の利用者の増加を図る。	利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書に係るイベントを実施する。	図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぼっこ」によって行われている。
	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能を次世代へ継承できるよう、保存、発展させていく。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居の保存伝承、獅子芝居の台本の復活と衣装の更新。	9月に明治座で歌舞伎公演・加子母総社水無神社祭典で獅子舞奉納等を行う。
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	24の文化団体で構成	10月文化祭の開催、1年の練習・研修の成果発表。
スポーツ	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。	地域ボランティアによって維持運営を行う。
	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4団体ある少年団を指導員と保護者でなる育成会で構成	野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学4年～中学生を対象に団員募集し活動する。
	加子母体育協会事業	競技スポーツの強化、一般スポーツを普及し体力増進と健康の維持を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	競技スポーツについては、スポーツと連携して強化を図るとともに一般の競技者の技術向上を図る。一般スポーツについてはスポーツになじみのない住民に軽スポーツ等によりスポーツにふれる機会を増やしていく。地区体育祭は10地区対抗競技として行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時約1000人集まる加子母で最大の行事である。
運営	明治座指定管理後の振興	明治座指定管理後の保護と活性化	歌舞伎体験や運営、見学者増加への支援	むら協・NPOとの連携

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 付知 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくりの拠点として親しまれる施設の運営を目指す。
2. 家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組み。
3. 青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
4. 地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組む。
5. 総合型地域スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。	地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏休み子ども講座等各種講座を実施する。夏休み子ども講座では、世代間交流や子ども地域学習の場を提供する。	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開発する。
	青川フェニックス大学【高齢者大学】	高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指す。仲間づくりと学習する機会を提供する。	大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習・健康の維持・増進を図る講座を開発する。今年度で20回目の開講となる。	平成28年度・・・普通部7講座、専門部18講座受講者数延べ359人、うち卒業者数延べ246人、皆勤者数63名
	乳幼児学級	乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の機会を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。	未就園児の親子を対象に毎月1回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。	すくすくわくわくまあるいこころ、読み聞かせサークルおひさま、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。
	青少年健全育成事業	地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウオーキング、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。	区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、更生保護女性会、各区推進委員等が連携して活動している。
	図書室の利用促進	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室により、企画展示 ②地域連携事業（学校・NPOとの協働事業） ③利用者へのフォロー：図書検索、予約など ④読み聞かせサークルの支援	学校やNPOとの協働により、公民館図書室の利用促進を図る。
文化	伝統芸能保存事業	地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるよう支援する。	木曳音頭、翁舞、三輪神楽などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して活動、イベント等への出演の支援を行う。	後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。
	文化祭事業	文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、28年度から、作品展示と芸能発表を一緒に二日間かけて開催している。	平成28年度・・・文化協会37団体、協会員488人
	文化財保護事業	文化財を保存し後世へ継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。	文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備・見学会の実施を支援する。	付知町文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を設置
スポーツ	生涯スポーツ推進事業	スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。	平成28年度実績・・・スホレク祭6種目354名、スホ少駅伝交流会200名、ウオーキング大会52名等
	公民館運営委員会	地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。	公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。	公民館運営委員はまちづくり協議会等各種団体から選出
運営	公民館の指定管理	まちづくり団体が公民館と一体的に活動すること、住民の意向を的確に反映した公民館活動を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化へつなげる。	付知町まちづくり協議会と連携・協力して、平成29年度に公民館の一部業務委託、平成30年度の指定管理へのスムーズな移行を目指す。	

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

公民館名 福岡 公民館

2 重点方針

1. 安全で安心して住むことのできる地域づくりを支援します。
2. 家庭、学校、地域、各種団体等と連携して「地域教育力」の向上に努めます。
3. 市民の居場所づくり、出番づくり、仲間づくりを支援します。
4. 伝統文化の継承と当該団体の育成を支援します。
5. 指定管理施設の充実に努め、市民サービスへの徹底と地域づくりに貢献したい。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	各種講座の開催	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがい作りを行う。	文化スポーツ講座を開催するとともに、市民の要求に沿った学習機会を企画運営する。	
	乳幼児学級 (母親サークル)	子育てに関わる学習や遊びから親子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	未就園児の親子を対象に、月1回開催し、子育ての学習や遊びなど、親子でふれあいがながら交流を深める。	参加者の自主活動で行われ、リーダー、地域の子育てサポーターの方たちが連携して運営している。
	青少年健全育成推進活動	家庭、学校、地域が連携し、青少年の健全育成に努める。	社運運動やふるさと祭りを始め、各分会において健全活動、保護活動を実施する。	保護司、更生保護女性会、民生児童委員、PTA、学校、当該推進委員が連携して活動。
	家庭教育学級	家庭教育力の向上のため、家庭、学校、地域が一丸となり子育てを推進する。	親子連(福岡子ども会連絡協議会)主催のかるた・百人一首大会の実施やニッ森ふれあいクラブ祭りへの協力を行う。	次世代の担い手としての育成を保護者の方たちと支援する。
	熟年ふれあい学級	毎日をより豊かに過ごすことができよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	福岡校区の各学校と行政が一体となり、気軽に語り合う、学びあう、機会をつくる。	
	放課後子どもクラブ	放課後のすべての子どもたちを守り、自主活動を支援します。	講師による勉強会を開催するとともに、見聞や知識を広める研修会を年間2回開催する。他地区との交流を更に深める。	
	文化活動事業(文化展)	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	各施設を利用し、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民と交流機会の提供、健全な生活と就労と子育ての両立の支援を行う。	
	芸能活動事業(芸能祭)	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会が主催し、住民の成果発表と作品展示の場として、毎年11月の第一土曜日と日曜日に文化展を開催する。	毎年200名以上の方が出品され、2,500名以上の来場者がある。
	伝統芸能保存事業 (常盤座歌舞伎保存会)	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。	ふくおか文化協会に加盟している団体等が日頃修練してきた成果発表(出演作)の場として、毎年3月の第一日曜日に開催する。	協会団体や会員を募集するとともに、賛助会員を募り、文化協会を更に発展させる。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成する。	常盤座を訪れる方へ歴史的建造物と地歌舞伎のPRを行う。 常盤座歌舞伎保存会が毎年3月の最終日曜日に歌舞伎定期公演を開催する。	常盤座歌舞伎保存会、常盤座棧敷会(支援団体)、歌舞伎子ども教室が積極的に活動している。 観光バスの乗客がH27年度急増している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより、住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、ニッ森ふれあいクラブ祭り(8月)及び発表会(2月)を開催する。	文化系3クラブ、スポーツ系12クラブが活動中。 福岡地区外の子どもたちも参加している。
運営	図書室の充実と活用	地域図書館としての機能を充実させるとともに、利用しやすい図書室を目指す。 小中学生の帰宅待機の機能の充実。 読み聞かせなど図書ボランティアの育成	各種スポーツ大会(市体育大会・スポレク祭・ハレーボール・ソフトボール)及び元日マラソンを開催する。	各種スポーツ団体として14クラブあり、その他の団体として5団体が活動している。 小中学生の学校からの帰宅時、保護者の迎え待ちの待機場所の役割も担っている。

平成29年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭川 公民館

2 重点方針

1. 地域が主体となって、文化・スポーツ、生涯学習に取り組める素地をつくるために、地域の自主的な各種団体と連携し、地域活性化の方策を模索、試行する。
2. 地域住民の学習活動、生きがいづくり、仲間づくりなど生涯学習の場と機会を提供する。
3. 地域・家庭・学校と連携し、青少年が健全に成長できる環境づくりを行う。
4. 健康で心豊かな人づくり、地域の文化向上、郷土伝統文化の継承を旨として、文化・スポーツ団体と連携して文化・スポーツ活動を推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育【乳幼児学級】	乳幼児の保護者の学習と仲間づくりを支援する	乳幼児学級(あそびの広場)を月1回開催し、遊びや学びの場を設けて親子のふれあい、親同士の交流を行う。	学級生役員による企画・運営の支援と、リーダーの育成と後継者づくり
	公民館講座	生涯学習の場を提供するとともに、地域における生涯学習への支援	地域づくり健康づくり文化スポーツ講座を開催するとともに、地域の学習要求に沿った学習機会を企画し運営する。	地域の学習要求に合致した自主講座の開催(私が講師の活用)
	青少年健全育成推進	地域連携による青少年の健全育成活動の実践	推進市民会議支部が軸となり、PTA他地域内諸団体と連携して青少年健全育成活動の取り組みを行う。	あいさつ運動、夜間巡回、夏祭り協力、成人を祝う会、カルタ大会、支部総会、支部大会、地域のおじさんおばさん運動の推進
	高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月1回開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、社会学、研修旅行、保育園児との交流などを実施する。	学級生による自主運営が望ましいが、高齢者でもあり、公民館の支援が重要である。
	なんでも塾【小学生対象】	活かせ、地域の教育力。有志ボランティアの協力を得て、土曜日の子育て活動を支援する。	地域の講師から、茶道、華道、書道、裁縫、着付け、算数、将棋、スポーツ、ホテルの観賞と成育、川遊び、農業、地域伝統文化などを学ぶ。	定期塾(月1×8回)、随時塾(テーマ毎に1回程度)を開講
文化	文化・芸能活動支援	地域の文化芸能活動の活性化支援	文化協会が行う芸能祭(6月)・文化展(11月)への支援および伝統芸能保存会の活動を支援する。また、各文化団体の自主的な発表会等に協力する。	文化展については、地域の文化展としての在り方を検討する。
	郷土資料保存伝承	地域の文化遺産・文化財などの保護保存と後世への継承および公開活用	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化を推進する。民俗資料の整理	およそ形ができて来てつあつあつとのことなので、今後活用を考えていく必要がある。
スポーツ	各種スポーツ大会 地区運動会 スポーツ教室	スポーツ活動の機会を設けて、健康づくりや地域のふれあいを支援する。	体育協会・総合型地域スポーツクラブによる企画の他、まち協や各自治会の体育委員、社会教育推進員との協働による地域対抗スポーツ大会などの運営を支援する。	ひとつばたごウオーキング(5月)、スポーツ祭(6月)、地区運動会(10月)、ソフトボール大会(10月)、新春健康マラソン(1月)、ビーチバレーボール教室など
	公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくり	利用者がより快適に利用できる環境づくりと、生涯学習ニーズの把握を行う。	公民館運営委員会が積極的に運営に関われれるような体制づくり

3

東濃地区社会教育振興協議会研修会及び 第9回岐阜県社会教育推進大会での発表について

今年度、上記の研修会と大会において、中津川市が社会教育委員部会での基調提案と発表の当番となっています。

●東濃地区社会教育振興協議会研修会

日時：平成29年8月22日（火）13：30～17：00 セラトピア土岐

趣旨：東濃地区の社会教育委員及び公民館館長・主事、各市社会教育関係職員が一堂に会し、社会教育委員の任務や公民館活動の今日的あり方を実践発表や講話・グループワークを通して研修する。

テーマ：社会教育の充実に資する社会教育委員及び公民館の在り方

～地域に愛着をもち、将来地域を担う子ども「地域社会人」の育成～

公民館部会実践発表 15分

- ・加子母公民館「域学連携大学と保小中学校の連携による地域づくり」

社会教育委員部会基調提案 15分

- ・原令子氏「社会教育委員としての取り組み」（案）

●第9回岐阜県社会教育推進大会

日時：平成29年10月6日（金）美濃加茂市文化会館及び可茂総合庁舎

大会主題：「学びと絆を深める地域づくり」

第3分科会

テーマ：地域・家庭・学校との協働による青少年の健全育成

趣旨：社会構造の変化、家族形態の多様化等に伴い、子育ての環境や意識は大きく変容している。家庭や地域の教育力の回復とさらなる向上を目指し子育て世代への教育や支援のあり方、また、次代を担う青少年を地域全体で育てる場や機会の拡充について協議する。

発表及び記録 20分

- ・加子母公民館「域学連携大学と保小中学校の連携による地域づくり」

平成29年度 中津川市社会教育推進の方針と重点（案）

【方針と重点】

「人育て・地域育て」

～平和で幸せな世の中を築くことが大切だと考える人を育てる～

平和で幸せな世の中を築くのは人間です。ですから平和で幸せな世の中を築くことが大切だと考える人を育てること、また、そういう人間が育まれていくように社会全体で支援していくことを考える

- 1 「親子が幸せに育つ」家庭教育力の向上
- 2 「人とのつながり」が深まる地域力の向上
- 3 「豊かな心、健康な身体」を育む読書、文化、スポーツ活動の推進
- 4 「地域社会の声」を積極的に反映する仕組みの推進

【具体的事項・事業】

- 1 「親子が幸せに育つ」家庭教育力の向上
 - ・「学力アッププログラム」「話そう！語ろう！わが家の約束」「あったかい言葉かけ運動」などの推進
 - ・「家庭」と「学校・園」とのパイプ役となり、課題に対して意見を述べる
 - ・PTAの「家庭教育学級」などの研修に対し積極的に支援する
- 2 「人とのつながり」が深まる地域力の向上
 - ・公民館を拠点とした各種事業の企画実施に関する事項について調査及び審議を行う
 - ・地域にある「学びの場」を工夫しまちづくり・地域づくりへの積極的な貢献をする
 - ・地域の社会教育団体などと連携し、主体的に活動する意欲ある人材・指導者を育てる
- 3 「豊かな心、健康な身体」を育む読書、文化、スポーツ活動の推進
 - ・「図書館」を中心とした子ども・大人の豊かな人間性を育むための読書活動の展開
 - ・社会教育施設を有効に活用した歴史、文化、芸能活動をとおして、ふるさとに誇りを持つ人づくり
 - ・生涯スポーツに関する意識を高め、スポーツに親しむ風土づくりを進める
- 4 「地域社会の声」を積極的に反映する仕組みの推進
 - ・各担当地域・団体での活動を中心に課題や情報を捉え、情報交流・提言につなげる
 - ・園・学校・公民館あるいは社会教育施設に足を運び、地域の人達からの声を聴きとる
 - ・教育委員会の附属機関であることから、諮問を受け、あるいは調査研究事項をまとめ提言していく

社会教育委員の役割・活動計画について

【活動内容（役割）】

- 1 家庭・地域の教育力向上のために家庭・地域・学校をつなぐパイプの役割を果たす
- 2 人づくり、地域づくりへの積極的な貢献
- 3 地域課題解決のために地域社会の声を行政に反映させる
- 4 社会教育に関する建議や教育委員会の諮問に対する答申及び提言を行う
- 5 社会教育委員としての見識を深めるために、各種の研修会や大会に参加する

【活動計画】

- 第1回 ・会の方向性の確認 ・「文化スポーツ部・各公民館」の方針と重点、事業についての審議
- 第2回 ・各地域、各団体の情報交流 （地域の声、課題など情報収集）
- 第3回 ・次年度へ向けての意見交流 （改善点、提言、要望など）
- その他 ・年間に開催される研修会や大会への参加

【社会教育委員の構成】

◇学校の代表 ・幼稚園・小学校・中学校・PTA ◇団体の代表 ・青年会議所・文化協会・体育協会・すくすくわくわくまあるいこころ ◇地域の代表 ・中津（3） 苗木・坂本（1） 落合・阿木・神坂（1） 山口・坂下・川上（1） 加子母・付知（1） 福岡・蛭川（1） ……合計17名

*庶務担当部 ・文化スポーツ部 ・図書館 ・鉱物博物館 ・各公民館

【上位計画など】

- 1 「中津川市総合計画」（平成27～38年度）
- 2 「中津川市教育振興計画」（平成27～38年度） 「子ども読書活動推進計画」「スポーツ推進計画」など
- 3 平成29年度「中津川市文化スポーツ部の方針と重点」 「各公民館の重点方針・事業」

*「社会教育の方針と重点」は各計画との整合を図り、進めて行くことを基本的立場としたい。